



一日も早い実現へ
力をあわせましょう

医療費無料化の署名をよびかける共産党区議団

小中学生の医療費を無料に

23
区中

18区が実施に踏みだしています



区議会
第1回定例会

小学生の医療費を無料にするための
条例と予算修正を提案しました

このため、日本共産党は、医療機関などの協力を得たうえで、来年4月から小学生の医療費を無料にする条例(花マルクラブと共同提案)と、そのための準備経費(927万円)を計上した2006年度予算の修正案を提出して、各会派に賛同をよびかけました。

小学生の医療費を無料にするために必要な予算は、年約4億円です。新宿区の予算(一般会計)規模は約1100億円。この5年間、毎年13億〜26億円の赤字ですから、決して無理なことではありません。

児童手当の
拡大とともに

医療費を無料にして、
総合的な子育て支援策を

今年度から、国の制度として、現在小学校3年生までの児童手当が6年生まで拡大されます。新宿区では、さらに独自に中学3年生まで拡大します(第2子までは月5千円、第3子以降は月1万円で、所得制限あり)。使い道が限定されない児童手当とちがい、子どもがいつ病気やけがをしても経済的な心配をすることなく安心して病院にかかれるのが、医療費無料制度です。

日本共産党は、「児童手当に加えて、すでに18区がふみだしている医療費無料化を実施し、総合的な子育て支援策に。子育てしやすい新宿区を」と実現をよびかけています。

惜しくも否決となりましたが
実現をめざすことに
反対した会派なし

日本共産党などが提案した条例と予算修正案は、社会、花マルクラブが賛成し、公明党、自民党、新宿無所属クラブ、民主党が反対して、否決となりました。予算特別委員会での予算修正案の採決は、賛成7名に対し反対9名で、あと二歩でした。また、反対した会派は、「中身について反対する立場ではない(公明党)」「反対する理由は本当はないが...(新宿無所属クラブ)」「次の実現のために努力させていただきたい(民主党)など、実現をめざすことに反対はしていません。

一日も早い実現めざし、ぜひ力をあわせましょう。日本共産党はひき続き全力でがんばります。

いま、23区のうち18の区が、子育て支援策・少子化対策として、なんらかのかたちで小学生や中学生の医療費を無料にしています。保護者のみなさんからは、「新宿区はいつやってくれるんですか?」と期待の声が強まっています。

日本共産党は、これまでも小中学生の医療費無料化を強く要求してきました。区議会第1回定例会(2月21日〜3月23日)の代表質問でもあらためて実施を求めましたが、中山区長は「ただちに実施にふみだす考えはない」と答弁しました。

区財政は改善されても
区民生活はたいへん!

くらしを支える区政へ全力!

日本共産党新宿区議団



あざみ 民栄

市谷加賀町2-6-1-D-302 TEL/FAX 3260-1456
E-mail trojan@syd.odn.ne.jp



あべ 早苗

新宿7-16-13
TEL/FAX 3202-8622



雨宮たけひこ

左門町12 ライジングプラザ5A
TEL 3341-0634 FAX 3353-5407



笠井 つや子

北新宿3-20-1 パークハイツ213
TEL/FAX 3369-6291



川村のりあき

西落合1-32-18 TEL/FAX 3950-8893
E-mail hokama1@k8.dion.ne.jp



近藤 なつ子

戸山1-16-16-310 TEL 3200-5164 FAX 3200-5163
E-mail natsuko_kon86@muf.biglobe.ne.jp



沢田 あゆみ

西早稲田2-19-1 TEL/FAX 3204-4491
E-mail ayumi-s@jt2.so-net.ne.jp



田中のりひで

上落合1-1-15-302 TEL/FAX 3362-6326
E-mail norihide@be.to



松ヶ谷まさお

山吹町333 カーネフセダ401
TEL/FAX 3269-0433

同時に、中山区長が提案した予算全体をみるならば、定率減税の縮小、医療・年金・介護保険などの相次ぐ社会保障の改悪など小泉内閣の「構造改革」でいっそう深刻となっている区民のみなさんの生活を応援する点では、たいへん不十分な内容でした。

新宿区の財政は、この間、様々な負担増やサービスの切り捨てなどで区民のみなさんに我慢を押しつけてきた結果、6年連続黒字が確実です。また、2006年度は、区民にとっては負担増となる定率減税縮小などの税制改定で約15億円の増収が見込まれています。

日本共産党は、区議会第1回定例会で、「区財政の改善を活かし、区民のくらしを支える施策の充実を」と具体的な提案をおこない、区長が提案した予算案には反対しました。

区議会 第1回定例会

「区財政の改善を活かし、
区民の切実な願いの実現を」
と提案しました

実現めざして
がんばります!

日本共産党が実現を求めた主な施策

- 国民健康保険料の負担軽減
- がん検診・成人健診を無料に
- 介護保険通所サービスの食事代助成は課税世帯も対象に。また、入所施設の居住費・食事代の負担軽減を
- 障害者自立支援法施行による負担増に対し抜本的な軽減策を
- チェーン店などの商店会加入促進のために区の支援を
- 相談・体験・実践など系統的で親身な若者の就労支援策を

2006年度予算で実現した 区民の要望(主なもの)

■木造住宅の耐震補強工事助成

1981年以前建築の木造住宅が対象。高危険度地区と非課税世帯が工事費の3/4以内で300万円、高齢者・障害者世帯が1/2以内で200万円、それ以外が1/4以内で100万円まで助成。また、1000㎡以上かつ5階建て以上の非木造住宅の耐震・構造診断助成、ブロック塀除去工事助成なども実現。



■区の避難所等の耐震補強工事

小中学校、幼稚園、保育園、児童館、中央図書館、区立住宅などの耐震補強工事が進みます。

■学童クラブの新設

定員を大幅に超えている区立学童クラブへの対策として、戸塚第2小学校内(06年2学期から)と戸山小学校内(07年4月から)に新設。

■全小中学校への

区費非常勤講師の配置

区立全小中学校(41校)に区費非常勤講師が「確かな学力推進員」として配置されます。また、4月から落合第2中学校に情緒障害学級(通級)が開校されます。

■介護保険通所サービスの

食事代助成

住民税非課税者(第1段階～第3段階)と介護保険の経過措置対象者が対象。1食あたり200円を上限に助成されます。

■百人町4丁目に特養ホーム・

身体障害者療護施設を建設

08年3月に開校予定。社会福祉法人が運営。特養100床、身体障害者療護施設10床のほか、ショートステイ、デイサービスを併設。

2006年度 予算

みなさんと力をあわせて
要求が実現しました

新宿区の2006年度予算では、区民のみなさんの切実な要望にこたえるいくつもの施策が実現しました。このなかには、日本共産党が区民のみなさんと力をあわせて、区議会できり返し提案したり、区長に要望してきたものがたくさんあります。

